

## 「要求分析を重視した設計手法と分析、設計方法論」WG1 の開催について

2011.11.01

実践的ソフトウェア教育コンソーシアム (P-sec) 事務局

日本のソフトウェア産業を取り巻く環境は、昨今の経済情勢からも極めて難しい局面にきています。従来の多重下請けのように工程分業の可能な仕事は、最近の円高もあり、ますます海外にシフトします。一方、ユーザ企業は新たなビジネスモデルの創出が不可欠で、開発規模は縮小傾向ですが、ユーザと一体となって取り組んでくれるベンダを切望しています。我々エンジニアに求められていることは、ユーザから「問題を与えられ作る、解を出す」のではなく、「ユーザと一緒に使う立場で問題を設定する」ことが必要なのです。そのためにはモデリング技術などをきちんと修得すること、ツールを上手く活用することなどが求められます。

2010年8月23日に当コンソーシアムが開催した「要求分析を重視した設計手法と分析、設計方法論について」の説明会ではこのような皆様方の認識の下、盛況のうちに終了し、これを継続させるため、下記、3つのWG開催が検討され、WG3, WG1, WG2の順で順次進めていくことになりました。

### WG1・・・これまでの方法論や方法の深耕に関する勉強会

WG2・・・より広い対象分野で適用できる新たな方法論の開発研究

WG3・・・大学等での要求分析講座の開発

WG3は2010年度10月から即活動を開始し、本年7月には成果報告会を開催しています。本年はWG1の活動を具体的に開始します。その内容については、以下のように計画しています。

1. 特定のツールによらないモデリング手法、設計手法、開発方法論について、基本に立ち返って勉強する。特に上流のドメイン分析、BPRなども取り上げる(2回程度)
2. 昨年紹介した要求分析を重視したツール(Pexa, Xupper)のほかに、実績をあげているGeneXus、Terasolnaなどのツールについて、方法論を中心に適用事例について、議論する(5-6回程度)
3. TERAS (Tool Environment for Reliable and Accountable Software) と連携し、組み込み系ソフトウェア開発ツールを紹介する。
4. 1-2か月に1回程度の勉強会を実施する。(場所：サイバー創研予定)
5. コーデネータ 野木秀子、大槻 繁(ずっとうけたかったソフトウェア設計の授業 著者)

WG1 のスケジュール ( 予定を含む )

	日時	内容
	2011 年 10 月	メンバ募集
第 1 回	2011 年 11 月 15 日 17 時 (サイバー 創研)	モデリング手法や開発方法論などの講義、 今後何をするか、何をしたいか、スケジュールも含め検 討
第 2 回 6 回	2011 年 12 月 2012 年 8 月	モデリング手法や開発手法の勉強会、 エンタープライズ系 各種ツールの方法論と 適用事例の紹介、討論 ( PEXA、XUPPER、GeneXus な ど 4 - 5 種予定 ) など
第 7 回	2012 年 9 月	まとめ発表
第 8 回 10 回	2012 年 11 月 2013 年 2 月	TERAS 関連 各種組み込み系ツールの方法論、 適用事例の紹介、討論
第 11 回	2013 年 3 月-4 月	まとめ発表

注：第 2 回以降については、第 1 回打合せ時にメンバで相談の上、確定

- ・ 開催場所は基本的に、サイバー創研会議室 ( 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 22-14  
NES ビル S1F )
- ・ 開催日はメンバの都合のつく日とする
- ・ まとめ発表日には、メンバ以外の方々も対象とする
- ・ 上記にとらわれず、メンバの状況などで柔軟に対処する

問い合わせ先

サイバー創研内 P-sec 事務局 田島 孝 電話：03-5459-3186、e メール：info@p-sec.jp